

大阪市立大学

統合について

2019年8月27日、公立大学法人大阪(大阪府立大学と大阪市立大学を運営する組織)が 「新大学基本構想」を発表しました。府大と市大を統合し、2022年4月に新大学を開学さ せる予定としています。

なぜ統合するの?

「新大学基本構想」では、大学統合の必要性として以下の事項が挙げられています。

1: 少子高齢化・大学間競争の激化への対応

アジアの主な大学は1万人を超える学生規模を誇るなどして世界的なプレゼンスを高 めているとして、大阪府、大阪市が世界と都市間競争を勝ち抜くためにも大学統合によ って一定規模の大学となり、大学の価値を高める必要があるとしています。

2:高度な融合研究の展開

科学の進歩・社会の変化により、一つの分野の知識だけでは解決できない課題が表出し ているとして、府大(工学、農学、獣医学などが盛ん)と市大(理学、医学、人文・社 会科学などが盛ん)の統合により複数の分野が融合した研究を行いやすくなる、として います。

3:選択と集中

人材、財源、土地、設備などを最大限活用するためとしています。一方、文書内には「設 立団体の財政状況が厳しい中、府内唯一の公立大学への重点的な投資を求めていく。」 との記述もあり、助成金等の先行きについては不透明な状況です。

府市大統合に関して自治会は何をするの?

特別議事のページで紹介した通り、他キャンパス・他大学との関係を強化して府市大統合 に備えるために新しく組織を設立しようと考えています。

- 一つ目の組織は大阪府立大学自治会連合で、大阪府立大学の学生全体の意見を集約する ために、中百舌鳥・りんくうキャンパスの自治会と羽曳野キャンパスの自治会の上位組織と して設立されます。
- 二つ目の組織は大阪府立大学・大阪市立大学統合対策学生委員会で、両大学の学生が統一 した意思決定を行うために設立されます。

これらの組織は後期自治委員会総会で承認され、準備が整い次第設立されます。

学部はどうなるの?

「新大学基本構想」の27ページに以下の表が掲載されています。

現在の学部・学域		新大学の教育研究組織			現在の大学院
市立大学		学部·学域	大学院		市立大学
商学部	\ <u> </u>	基幹教育機構		1	経営学研究科
経済学部	THE THE	A± > 7 = 1 ₹ N 25 1 + p	現代システム科学研究科	1	経済学研究科
法学部		代システム科学域		- /	法学研究科
文学部		学部	文学研究科	- /	文学研究科
理学部	法	学部	法学研究科		理学研究科
工学部	経	済学部	経済学研究科		工学研究科
医学部	商	学部	経営学研究科		医学研究科
生活科学部			都市経営研究科		生活科学研究科
			情報学研究科	ī (都市経営学研究科
		חגאנג	113115 3 777 31 1	- \	看護学研究科
府立大学		学部	理学研究科	- \	府立大学
高等教育推進機構		学部	工学研究科	- \	工学研究科
回分数台班征巡悼	1	学部	農学研究科	_ \	生命環境科学研究科
現代システム科学域	断	医学部	獣医学研究科	_ \	理学系研究科
工学域	医	医学部	医学研究科	_ \	経済学研究科
生命環境科学域			リハヒ*リテーション学研究科		人間社会システム科
地域保健学域	看	護学部	看護学研究科		学研究科
	生	活科学部	生活科学研究科		看護学研究科
				_	総合リハビリテーション 学研究科

この表によると、新大学では「農学部」「獣医学部」「看護学部」が独立した学部となります。また大学院では「農学研究科」「獣医学研究科」「情報学研究科」が独立した研究科となります。

また、現代システム科学域は、SDGsの達成(持続可能な社会の構築)を目的として多様かつ横断的な領域を学ぶ点が、伝統的な学問領域を専門的に学ぶ他の学部と異なるとして、新大学で唯一の「学域」となっています。

キャンパスはどうなるの?

2025年に大阪環状線沿線の森之宮に新キャンパスが完成する予定となっています。新キャンパスの完成前は杉本、中百舌鳥の各キャンパスで基幹教育を行いながら、一部の学部の拠点統合を進める予定としています。新キャンパス完成後は、森之宮キャンパスでは 1,2 年次の基幹教育と文学、リハビリ学、生活科学の教育を行うとしています。また、社会科学、理学は杉本キャンパス(現在の市大メインキャンパス)に、工学、情報学は中百舌鳥キャンパスに統合される予定となっています。

現在府大看護学類と総合リハビリテーション学類の拠点となっている羽曳野キャンパス については、具体的な記述がなく、詳細はいまだ不明です。